

幡羅中だより



第 33 号
令和5年12月21日(木)

高く志を抱き 心豊かに
たくましく生きる生徒の育成
心を磨く生徒 本気で学ぶ生徒 体を鍛える生徒
学校発展の原動力「信頼・責任・協力」を大切にし、
「文武両道」を実現し、地域と共に歩む学校をめざす



自分の強みを育てよう！ ～ キャリアとは、自分の特徴を見付けて、磨いていく旅 ～

経営難に陥っていたテーマパークや古くなった遊園地、売り上げの低迷したうどんチェーンの店舗をよみがえらせたマーケターがいます。彼は、最初から成功したわけではありません。自分の「特徴」を見付け、磨きをかけて「強み」に変えました。その人は、「好きなこと、やってみたいことを目指して、自分の特徴や得意なことを生かしながら、目標にたどり着く方が結果を出せる確率が高いのです。たとえ、苦手な領域であったとしても、自分の特徴を使いながらだったら、努力が続けられるので、身に付くことがあります。自分の中でがんばれることを縦に伸ばしたら、それが突出して必殺技になるのです。」と、言っています。彼は、対談の中で、司会者からの「これから社会に出る、あるいは、社会に出ている若者たちにどんなことを伝えたいか。」の問いに、「自分の中に、必ず誰かの役に立てる何らかの特徴があるということを、だまされたと思って本気で信じて欲しい。それを信じないことには、何も得ないからです。例えば、自分はちょっと英語が得意かな。でも、自分よりも英語が得意な人間なんか山ほどいるって思う。自分は何ができるだろうと他の人と比べて自信を失って、『自分はこれで生きていける、これだ』というものがない人が、ほとんどだと思うのです。これって実は当たり前です。今強みがあるわけがない。強みはこれからつくっていくからなのです。今あるのは、磨いたら光るかもしれない特徴なんです。今強みがないのではなくて、本当は、強みになる特徴があるけれど、そのことに気付いていないと思うのです。でも、きっとそれがあって思わないと、努力する力が湧いてこないのです。だまされたと思って1回信じてみる。その特徴が生きてと思える環境に出てみて、その中で自分が信じた特徴を一生懸命磨いていく中で、自分の強みをつくっていく。そこから強みはできあがっていく。これからなんです。僕は『強みは育つものだ』と思っています。キャリアとは、『自分の特徴を見付けて、磨いていく旅』だと思っています。」と答えていました。皆さん、これからです。自分の特徴を見付けて、磨いていきましょう！

いじめ根絶に向け、視点を変えてみる



11月28日、埼玉県弁護士会より講師をお招きし、いじめ防止講演会を行いました。人権は、誰もが幸せに生きる権利であること、自分本位の一方的な見方を相手本意の視点に変えることが大事だということを忘れないようにしましょう。

働く意義について知る ～社会体験チャレンジ事業～

12月5日(火)から7日(木)までの3日間、社会体験チャレンジ(職場体験)を実施しました。進路指導・キャリア教育の一環として行われるこの活動は、生徒自身が働くことの意義を知り、将来の進路選択について考える重要な取組です。

初めての体験に、生徒は、戸惑いの表情を隠せずにいましたが、時間が経つにつれ、徐々に積極的に行動できるようになりました。インフルエンザが心配されましたが、3日間を無事に終えることができました。

生徒の訪問を楽しみにしていただき、快く受け入れてくださった50の事業所の皆さんに深く感謝申し上げます。生徒一人一人に丁寧な指導をいただくとともに、生徒を温かく見守ってください、御礼を申し上げます。本当に有り難うございました。



1月の行事予定



日	曜	1 月 行 事
1	月	元日
2	火	年始休業日
3	水	年始休業日
4	木	冬季休業日
5	金	冬季休業日
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	3学期始業式
10	水	交通安全指導日 給食開始 3年実力テスト 1,2年テスト
11	木	
12	金	1年ｽｷｰ教室説明会
13	土	
14	日	
15	月	ステップアップ・レッスン(SUL)
16	火	学年朝会(2・3年) 生徒会専門委員会 SUL
17	水	
18	木	学年朝会(1年) SUL
19	金	私立入試直前指導(3年) 夢・きらきらアート展
20	土	夢・きらきらアート展
21	日	夢・きらきらアート展
22	月	私立入試中心日 夢・きらきらアート展 SUL
23	火	プロジェクトMAX SUL
24	水	
25	木	生徒朝会(給食)
26	金	社会体験チャレンジ まとめ訪問
27	土	児童生徒美術展
28	日	児童生徒美術展
29	月	SUL
30	火	SUL
31	水	交通安全指導日 3年希望面談①

新たな年を迎え、新たな決意をもってチャレンジしよう！

こども学びスタ in 深谷 ～ 中学生の主張 ～



12月10日(日)深谷市民文化会館小ホールにて「こども学びスタ in 深谷 中学生の主張」が、市内中学校の11名により行われました。本校からは、3年生の大野提典さんが出場しました。『充実した生活を生むもの、それは夢を持つこと』と題した主張は、心から師と仰ぐことのできる先生との出会い、日々の関わりを通じて、自身の将来の姿を重ね、夢を持つことが生活や人生を豊かにすると、自身の考えをホール中に力強く述べ、優良賞を獲得しました。

地域貢献活動への取組 ～ クリーンキャンペーン ～

11月29日(水)の第6校時に、全校生徒・職員による「クリーンキャンペーン」を実施しました。「見返りの松」から学校東角交差点までの旧中山道沿いと中学校周辺の歩道と沿道際に広がる落ち葉や枯草等を取り除きました。

この取組は、幡羅中学校開校70周年を記念して始めたもので、今年で8回目を数えます。限られた時間でしたが、時間いっぱい取り組むことができました。

生徒の表情には、達成感と成就感、満足感が見られました。地域の方から「いつも有難うございます。」と、感謝の言葉をいただきました。



お世話になりました ～ 今年の一文字「税」に思うこと ～

今年の世相を表す漢字一文字が決定し、京都・清水寺の森清範貫主が「税」の一文字を揮毫(きごう)されました。これは、日本漢字能力検定協会が、漢字の奥深さと意義を再認識してもらうために1995年から始めたものです。「税」の偏(へん)は、禾(のぎ)で穀物を意味し、旁(つくり)の兌(だ)は、取り替える、交換するの意味です。そこから税とは、米などの穀物で納めることを指し、健康で豊かな生活を実現するための財源を税金と言います。今年を振り返りますと、保護者、地域の方々に支えられ、生徒は、健康で心豊かに生活することができました。改めて、感謝申し上げます。幡羅中学校は、どのような状況下にあっても、できることを最大限に考えて最後まで諦めずに取り組んでまいりました。来たる令和6年も、さらなる高みを目指して「チーム幡羅」の名の下に、職員が一丸となって邁進してまいります。引き続き、保護者・地域の皆様の御理解と御協力、御支援をよろしくお願い申し上げます。

家庭の「安心ふっかネット」(深谷市PTA連合会提言)

お子様をネットトラブル等から守るために、御家庭の御理解と御協力をお願いいたします。

1月に入ると、3年生は「私立入試」の中心日を迎えます。インフルエンザ等の感染症予防を徹底し、健康管理に留意してください。御家庭の御協力をお願いいたします。